

内部リンク設計テンプレート

このテンプレートは、ウェブサイトの内部リンク構造を整理し、SEO効果とユーザー体験の向上を目指すためのワークシートです。自社サイトの主要なページ（サービスページ、主要記事、カテゴリページなど）のつながりを可視化し、漏れのない導線設計を行うためにご活用ください。

テンプレートの目的

- サイト構造の可視化:** どのページがどのページとリンクしているかを明確にします。
- SEO効果の最大化:** 重要なページへのリンク集中や、関連性の高いページ間の接続を強化します。
- ユーザー体験の向上:** 訪問者がサイト内を迷わず回遊し、目的の情報やサービスにスムーズにたどり着けるように導線を設計します。
- 設計ミスの防止:** 関連性の低いリンクや曖昧なアンカーテキストなどの問題を事前に特定し、改善します。

テンプレートの使い方

- 重要ページリストの作成:** まず、自社サイト内で特に重要だと考えるページ（サービスページ、お問い合わせページ、主要なカテゴリページなど）をリストアップします。
- 既存リンクの棚卸し:** 各ページから現在どのような内部リンクが張られているかを把握します。
- 新規リンクの検討:** ユーザーの行動やSEOの観点から、新たに設置すべきリンクや改善すべきリンクを検討します。
- アンカーテキストの最適化:** リンク先のページ内容を具体的に示すアンカーテキストを設定します。
- パンくずリストの確認:** サイト全体の階層構造がパンくずリストで適切に表現されているかを確認します。

1. 重要ページリスト

自社サイト内で特に重要度が高いページをリストアップし、その役割と優先度を明確にします。これらのページへ内部リンクを集中させることを意識しましょう。

ページ名	URL	役割（例：サービス紹介、集客、コンバージョン）	優先度（高・中・低）	備考
サービスA紹介ページ	https://example.com/service-a/	サービス紹介、コンバージョン	高	最も売りたい主力サービス
お問い合わせページ	https://example.com/contact/	コンバージョン	高	顧客獲得の最終目標
ブログトップページ	https://example.com/blog/	集客、情報提供	中	新規記事の流入窓口
〇〇カテゴリページ	https://example.com/blog/category/xx/	情報整理、回遊性	中	関連記事への誘導
会社概要ページ	https://example.com/company/	信頼性向上	低	企業情報提供
（記入例）	https://example.com/example/	（例：資料請求、集客）	（例：高）	（例：最も重要な資料請求ページ）

2. 記事ページからの内部リンク設計

ブログ記事やコラム記事など、情報提供を目的としたページから、他の記事、カテゴリページ、そしてサービスページへのリンクを設計します。読者の検討段階や文脈に合わせた自然な誘導を心がけましょう。

リンク元ページ名	リンク元URL	リンク先ページ名	リンク先URL
内部リンクの基本記事	https://example.com/blog/internal-link/	SEO対策ガイド	https://example.com/seo-guide/
内部リンクの基本記事	https://example.com/blog/internal-link/	サービスA紹介ページ	https://example.com/service-a/
WordPress運用記事	https://example.com/blog/wordpress-tips/	WordPressカテゴリ	https://example.com/category/wordpress/
（記入例）	https://example.com/blog/example-article/	（例：関連記事B）	https://example.com/article-b/

3. カテゴリページからの内部リンク設計

カテゴリページは、関連する記事をまとめる役割があります。ここから個別の記事や、関連性の高いサービスページへのリンクを設計し、サイトの回遊性を高めます。

リンク元ページ名	リンク元URL	リンク先ページ名	リンク先URI
SEOカテゴリページ	<code>https://example.com/blog/category/seo/</code>	内部リンクの基本記事	<code>https://example.com/internal-link/</code>
SEOカテゴリページ	<code>https://example.com/blog/category/seo/</code>	サービスA紹介ページ	<code>https://example.com/service-a/</code>
(記入例)	<code>https://example.com/blog/category/example/</code>	(例: 記事C)	<code>https://example.com/article-c/</code>

4. パンくずリスト設計

各ページのパンくずリストの表示を確認し、ユーザーが現在地を把握しやすく、かつサイトの階層構造が論理的に表現されているかをチェックします。WordPressなどのCMSでは自動生成されることが多いですが、その内容が適切かを確認しましょう。

ページ名	URL	パンくずリスト表示例 (例: ホーム > カテゴリ > 記事タイトル)	階層 (例: 3)
サービスA紹介ページ	<code>https://example.com/service-a/</code>	ホーム > サービス > サービスA	3
内部リンクの基本記事	<code>https://example.com/blog/internal-link/</code>	ホーム > ブログ > SEOカテゴリ > 内部リンクの基本	4
お問い合わせページ	<code>https://example.com/contact/</code>	ホーム > お問い合わせ	2
(記入例)	<code>https://example.com/example/</code>	(例: ホーム > 製品 > 製品カテゴリ > 製品名)	(例: 4)

内部リンク設計を見直す際のチェックリスト

- 最も重要なページが明確になっているか？
- 重要なページへ向かう内部リンクが十分に確保されているか？
- 記事からサービスページへの導線は、自然で売り込み感が強すぎないか？
- 読者の検討段階に合わせてリンク先を調整しているか？
- アンカーテキストは、リンク先のページ内容を具体的に示しているか？
- 関連性の低いページへの無理なリンクはないか？
- リンク数が多すぎて、重要な導線が埋もれていないか？
- パンくずリストは、各ページの現在地を分かりやすく示し、サイトの階層構造を適切に表現しているか？
- サイト全体の情報設計の一部として、内部リンクを考えているか？

このテンプレートを活用し、定期的に自社サイトの内部リンク設計を見直すことで、SEO効果とユーザー体験の継続的な改善を目指しましょう。